

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学研究設備・機器の整備・共用推進ポリシー

令和5年2月21日
役員会決定

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的としている。

そのため、最先端の研究を推進するための研究設備・機器を本学の重要な経営資源の一つと捉え、経営戦略に基づく研究設備・機器の整備及び共用の推進を本学の経営基盤の強化につなげるため、以下のとおり研究設備・機器の整備・共用推進に関するポリシーを定め、全学の協働体制の下で研究設備・機器の学内外への共用を推進する。

1. 大学全体の研究力向上を目指して計画的・戦略的に研究設備・機器の整備計画を策定し、研究基盤の整備を推進する。
2. 学内の研究設備・機器は大学の共通資産であり、これらを活用することで研究力の向上を達成できるとの認識のもと、汎用性があり、一定規模以上のものは、原則として共用とする。
3. 共用化された研究設備・機器の維持管理費は、受益者負担の考えを原則としつつ、大学全体で予算を確保する。
4. 共用化された研究設備・機器の学外への有効活用を推進する。